



白鳳点描

行動で示すことができる人に

校長 川本 幸則

今年サッカーのワールドカップが開催されます。オリンピックと同じように4年ごとに行われる大会ですが、他の種目と異なり、サッカーでは、このワールドカップが世界最高峰と位置付けられる最も権威ある大会です。

11月23日(祝)の夜に、眠い目をこすりながら、テレビで日本対ドイツのゲームを見ていました。押され気味だった前半の様子から、このゲームの結果は予想できませんでした。多くの方はドイツの勝利を予想していたと思います。ただ、ゲームに臨んでいた選手たちは、勝利を目指していたからこそ、素晴らしい結果が生まれたと思います。

自分を信じ、仲間を信じ、前を向いてひたすら努力する大切さを改めて感じました。

また、Webニュースで知った FIFA 公式ツイッターが公開した日本の試合後のコメントもうれしいものでした。

「W杯でドイツ相手に歴史的な勝利を収めたあと、日本サポーターはスタジアムのゴミを片付け、サムライブルー(日本代表)はカリファ国際スタジアムのロッカールームをこのような状態であとにした。ピカピカだ。ドーモアリガトウ」

写真も見ましたが、選手の行動を見習わなければならないと思いました。また、応援に来ていたサポーターも会場や運営する方々への感謝の気持ちを行動で表しています。思うだけでなく、行動で表せるように子どもたちにも伝えていきたいことです。

朝、校門で交通指導員さんから、「最近、登校している班の人数が少なくなっているように思います。」とお話をいただきました。感染症の再拡大により影響を受けていることをお伝えしました。すると、ワールドカップが遅い時間にやっているの、テレビを見ていて、遅れてしまう子もいるのではないですかと言われました。

毎日の子どもたちの様子を見ていただいて、その変化に気付いていただけたことに改めて感謝しています。学校としても、子どもたちが明るく元気に過ごせるよう取り組んでいきたいと思っています。

【愛知県教育委員会公式 Twitter のお知らせ】

愛知県教育委員会では、公式 Twitter を運用しております。

県の教育施策やイベント情報等を随時発信しますので、ぜひ御覧ください。

アカウント名 愛知県教育委員会@aichi_kyoiku

URL https://twitter.com/aichi_kyoiku



*こちらの QR コードからも確認できます。